

ヤマノイモ と カエデドコロ と オニドコロ

葉身はやや三角形をした細長い卵形で、表面につやはなく、長さ5~10cm、先は尖る

葉身はハート型が三裂、または掌状に五~九裂し、両面に短毛がある、長さ12~19cm

葉身はハート型~三角状ハート形で、長さ5~12cm、先は長く尖る

葉の多くは対につく

葉が互い違いに出る

先端は尖るが、横に出る裂片は尖らない

ムカゴを作り花は白~黄緑色で紫を帯びる

葉が互い違いに出る

ムカゴは作らず、花は黄緑色

葉柄の付け根に一對の突起がある

ムカゴは作らず、花は黄緑色

ヤマノイモ(ヤマノイモ科) *Dioscorea japonica*

カエデドコロ(ヤマノイモ科) *Dioscorea quinqueloba*

オニドコロ(ヤマノイモ科) *Dioscorea tokoro*

オオチャルメルソウ と ジンジソウ



葉身は卵形で幅より縦が長い

花は五枚の花弁、淡黄緑色で、五～九片に羽状に裂ける

葉の付け根の横から高さ20～35cmの花の茎をたて、その片側に多数の花を並べる



オオチャルメルソウ(ユキノシタ科) *Mitella japonica*



白い花は五枚花弁で、三枚は小さく赤い斑紋がある

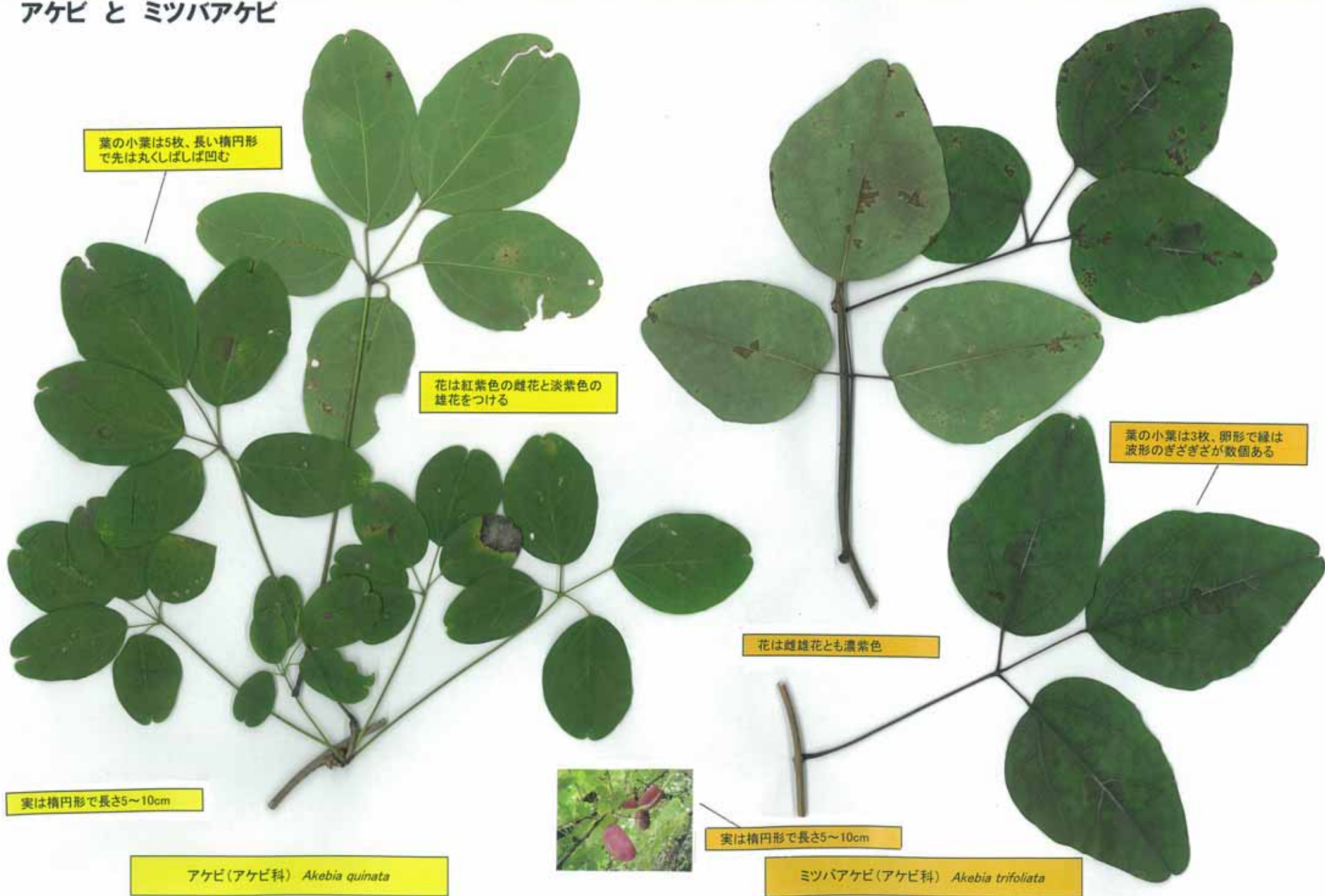


花弁の二枚が長くて目立つため、「人」という文字にみえるところから名がついた

葉は鮮緑色で、やや切れ込みが深く、ぎざぎざがある

ジンジソウ(ユキノシタ科) *Saxifraga cortusaefolia*

アケビ と ミツバアケビ



ピロードイチゴ と クサイチゴ と ナガバモミジイチゴ



単葉、葉はほとんど裂けず縁のざざぎさも低い

葉、茎、いちごにピロード状の毛が密生

いちごは赤色に熟す

ピロードイチゴ(バラ科) *Rubus corchorifolius*



複葉、花枝では三小葉、徒長枝では五小葉からなり長い楕円状卵形

茎に短い軟毛を密生する

いちごは赤色に熟す

クサイチゴ(バラ科) *Rubus hirsutus*



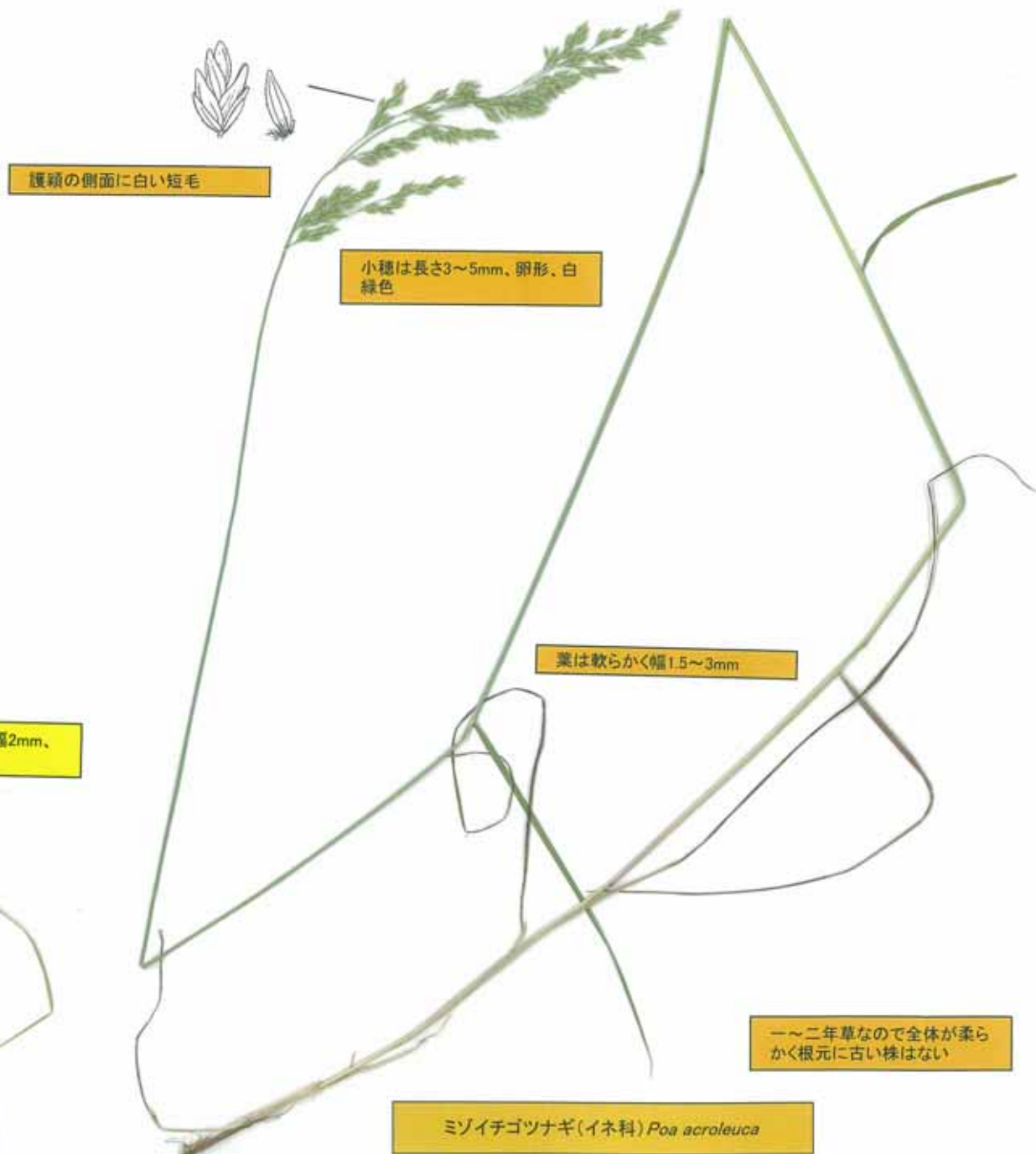
単葉、葉は狭い卵形で3~5つに裂け縁のざざぎさは鋭い

茎にはまっすぐな2~3mmの刺が多い

いちごは黄色に熟す

ナガバモミジイチゴ(バラ科) *Rubus palmatus*

イチゴツナギ と ミゾイチゴツナギ



ススキ と アブラススキ

小穂は長さ5~7mm、基部に長さ7~12mmの毛を密生する



葉身は長さ20~60cm、幅6~2cm、縁がざらつく

茎は高さ60~200cm

ススキ(イネ科) *Miscanthus sinensis*

小穂は長さ6mm、長いのぎがあり、緑色で紫褐色を帯びる、小穂がついた枝は垂れ下がる

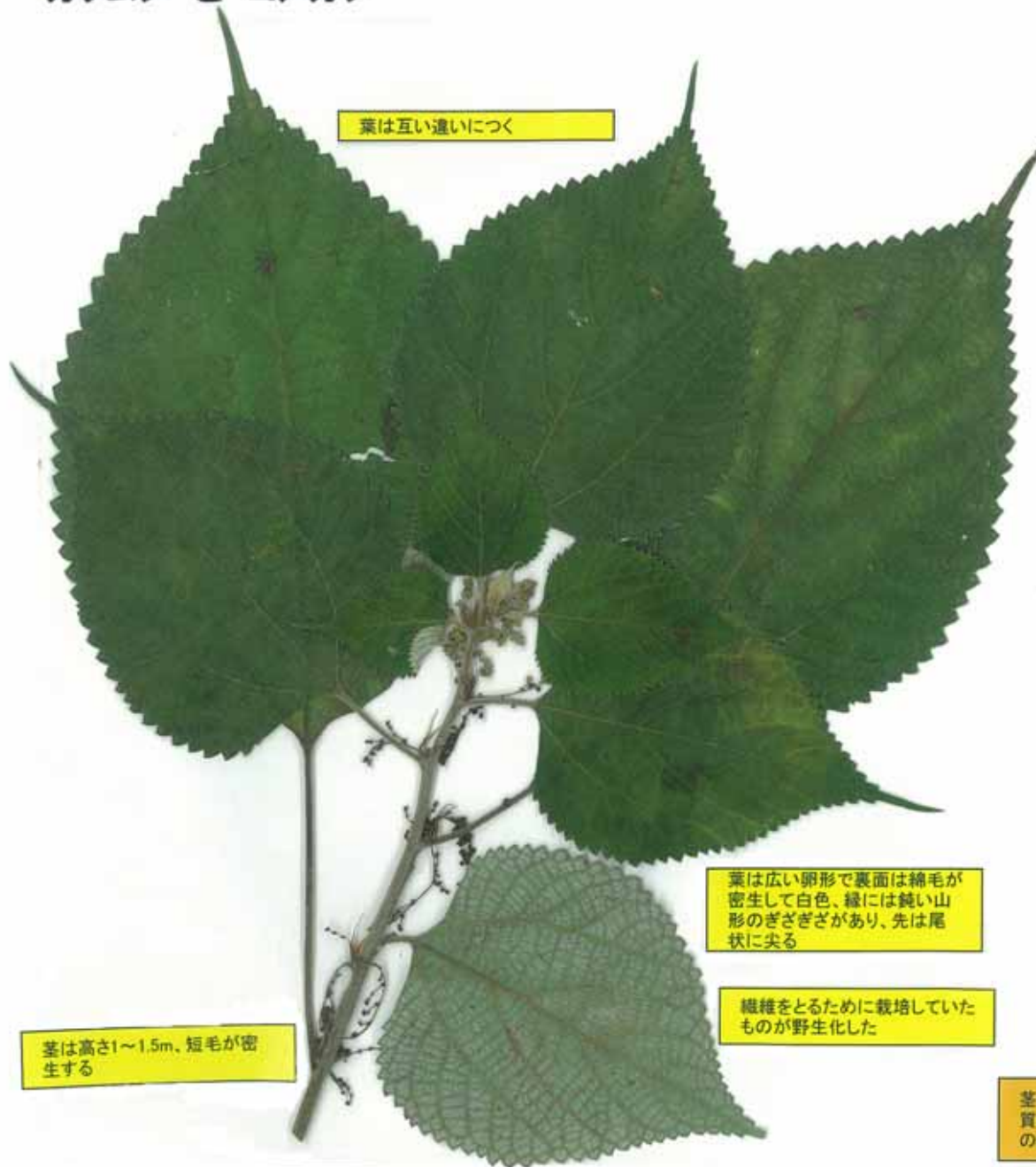


葉身は長さ40~60cm、幅1~1.5cm、表面がざらつく

茎は直立し先の方はやや傾き、高さ80~150cm

アブラススキ(イネ科) *Echinochloa colulifer*

カラムシ と コアカソ



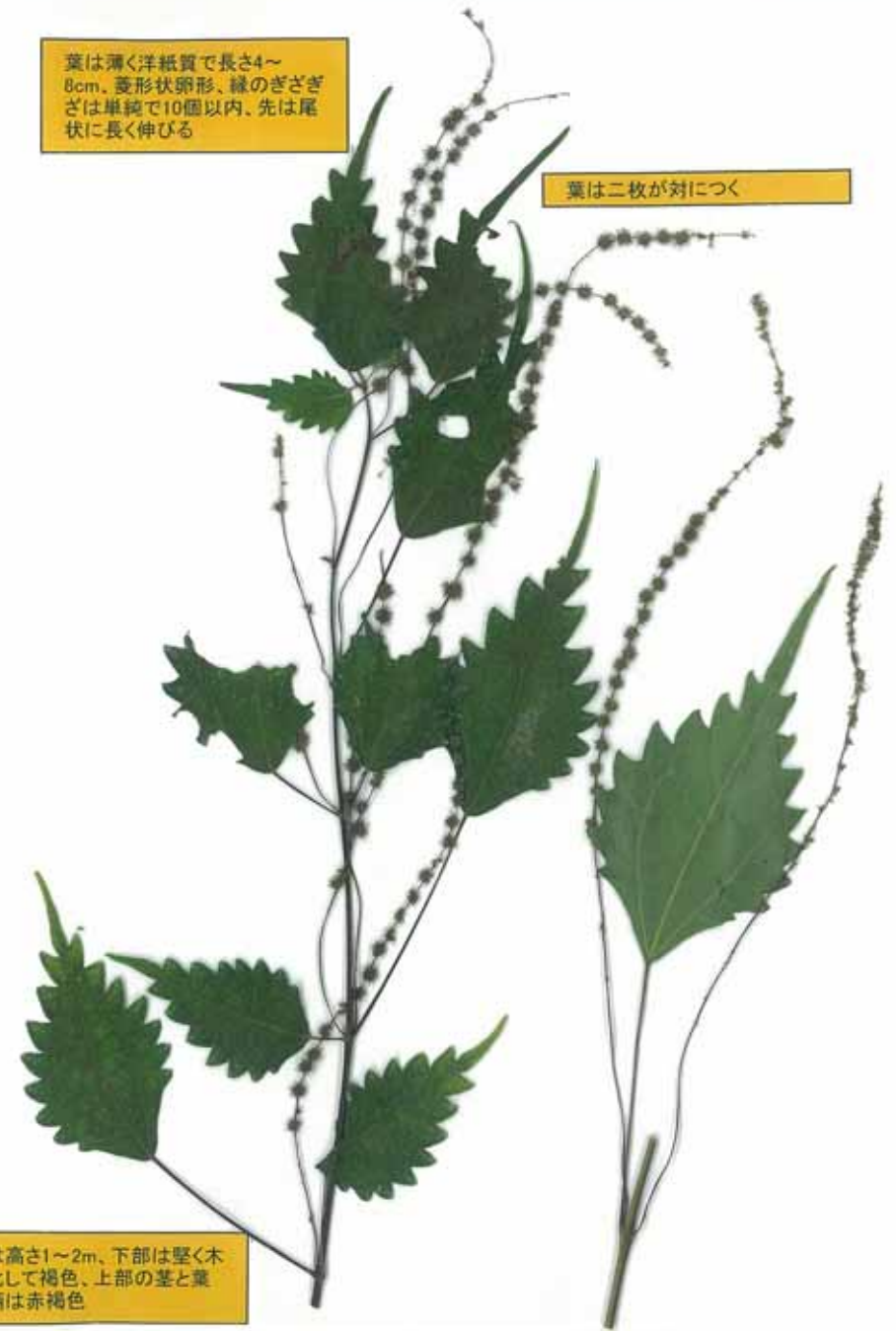
葉は互い違いにつく

葉は広い卵形で表面は綿毛が密生して白色、縁には鈍い山形のぎざぎざがあり、先は尾状に尖る

繊維をとるために栽培していたものが野生化した

茎は高さ1~1.5m、短毛が密生する

カラムシ(イラクサ科) *Boehmeria nivea* var. *concolor*



葉は薄く洋紙質で長さ4~8cm、菱形状卵形、縁のぎざぎざは単純で10個以内、先は尾状に長く伸びる

葉は二枚が対につく

茎は高さ1~2m、下部は堅く木質化して褐色、上部の茎と葉の柄は赤褐色

コアカソ(イラクサ科) *Boehmeria spicata*

ヤマトキホコリ と ヒメウワバミソウ

葉は楕円形で左右不同、先は尖るが尾状とはならない、長さ5~10cm、縁に片側4~8箇所のぎざぎざ

茎は太くみずみずしく、高さ25~35cm

全体がやや淡い黄緑色

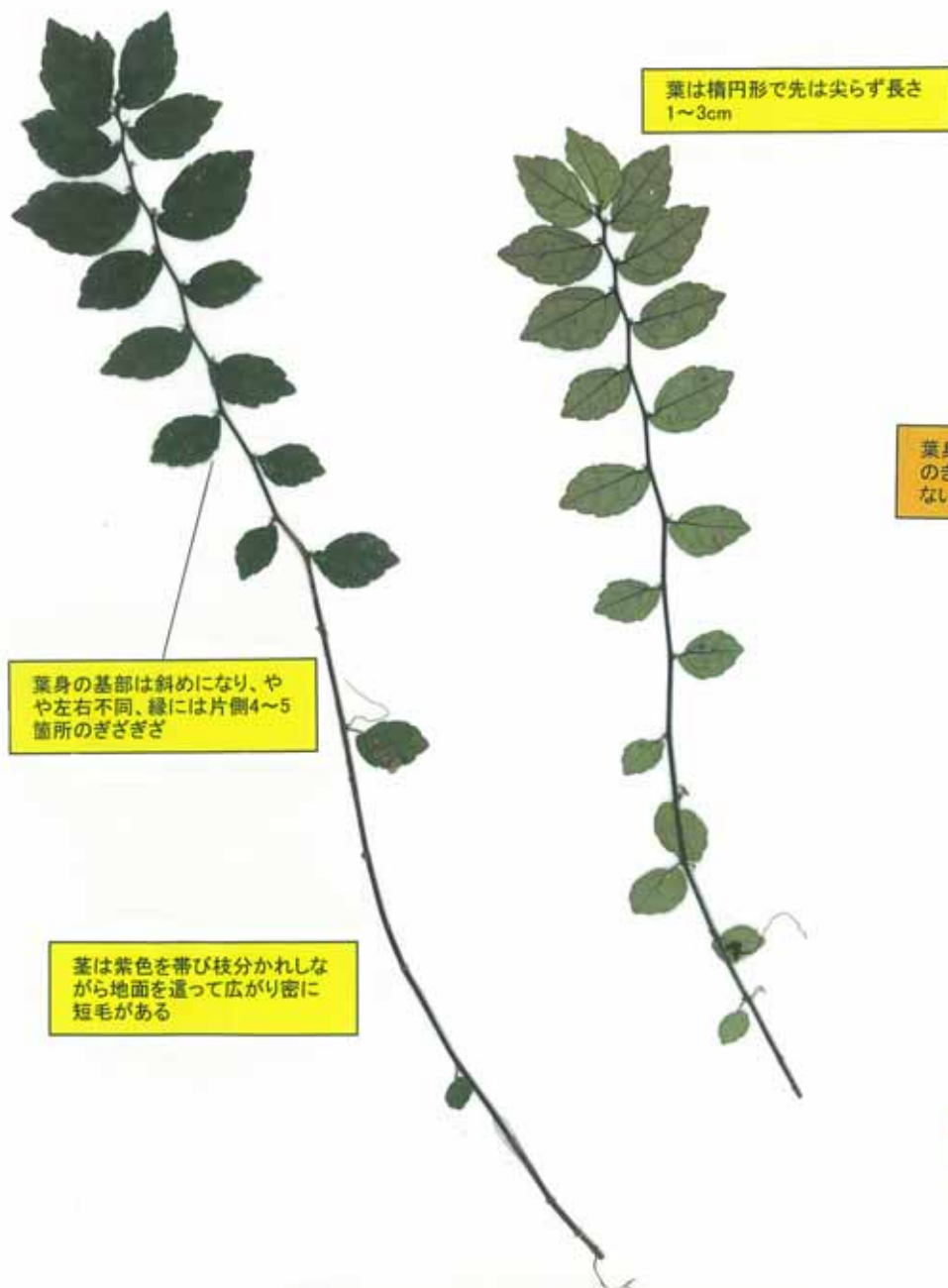
ヤマトキホコリ(イラクサ科) *Elatostema laetevirens*

葉は柄がなく左右不同、先は尾状にのびる、長さ3~9cm、縁に片側2~5箇所のぎざぎざ

茎は時に枝を分け直立または斜上して高さ10~40cm

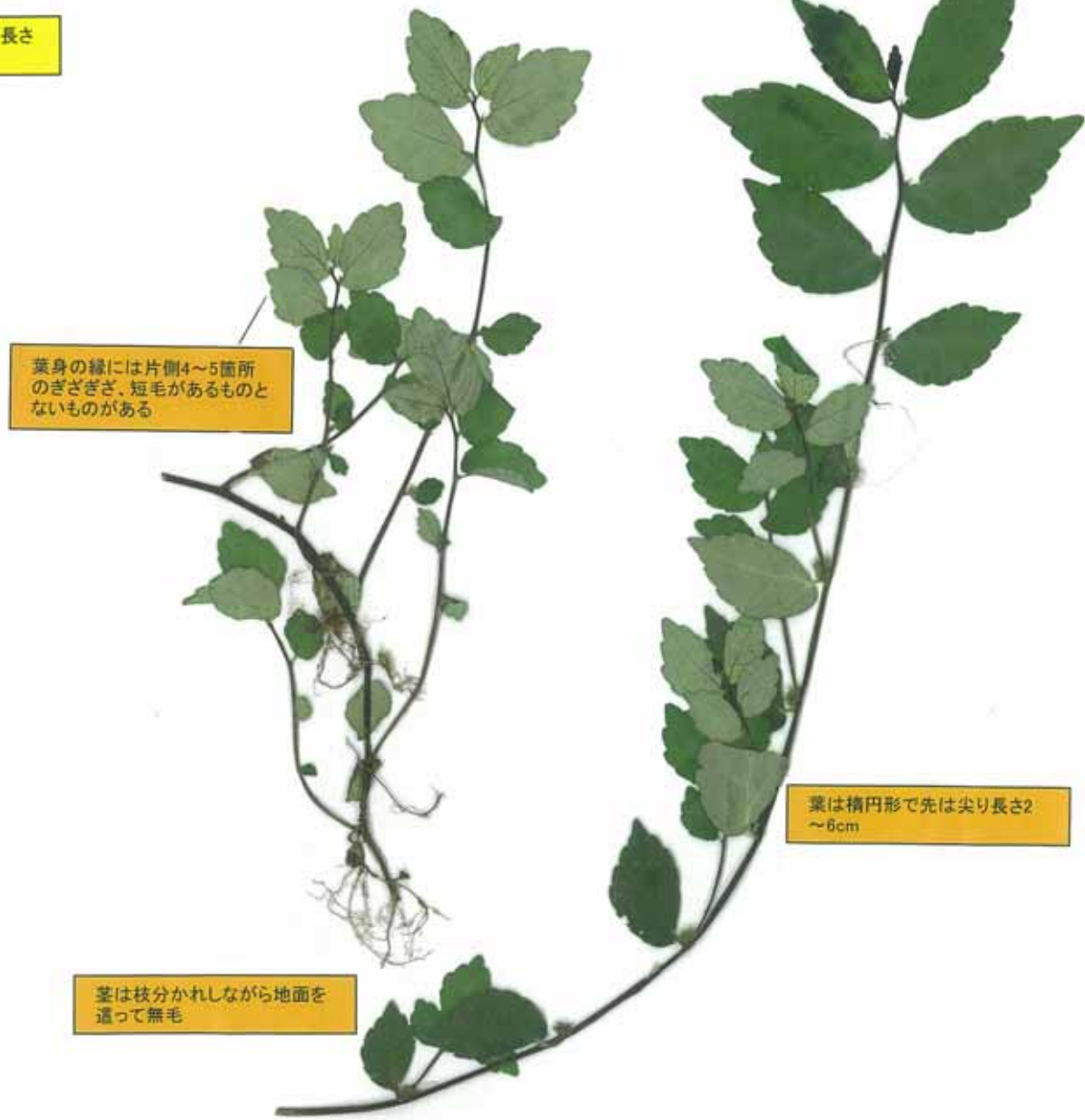
ヒメウワバミソウ(イラクサ科) *Elatostema umbellatum*

サンショウソウ と オオサンショウソウ



サンショウソウ(イラクサ科) *Pellionia minima*

サンショウソウより大きい



オオサンショウソウ(イラクサ科) *Pellionia radicans*

ヤマミズ と コミヤマミズ と アオミズ

葉身は幅広い卵形で長さ4～6cm縁に片側2～6箇所のぎざぎざ

葉身は細長い卵形で先は尾状に尖り長さ6～12cm

葉はややくすんだ暗緑色、表面に毛が散在、裏面脈状に複毛がある

茎はあまり分岐せず直立し高さ40～80cm

葉身は菱形状卵形で先は尾状になり長さ3～10cm縁に片側5～13箇所のぎざぎざ

葉の付け根から長短のある軸を出して丸いかたまりに花をつける

葉の付け根の托葉は長さ1～2mm

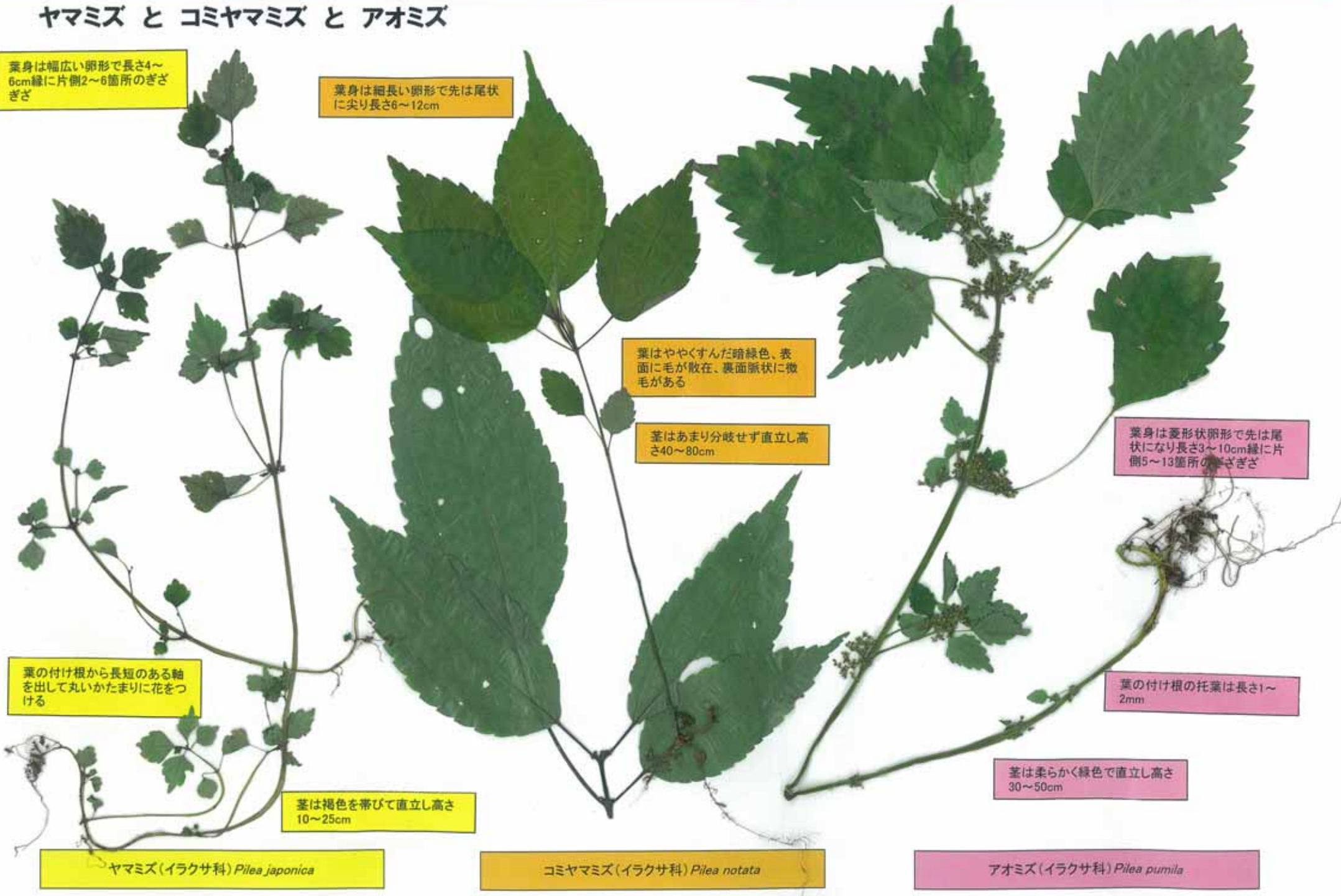
茎は褐色を帯びて直立し高さ10～25cm

茎は柔らかく緑色で直立し高さ30～50cm

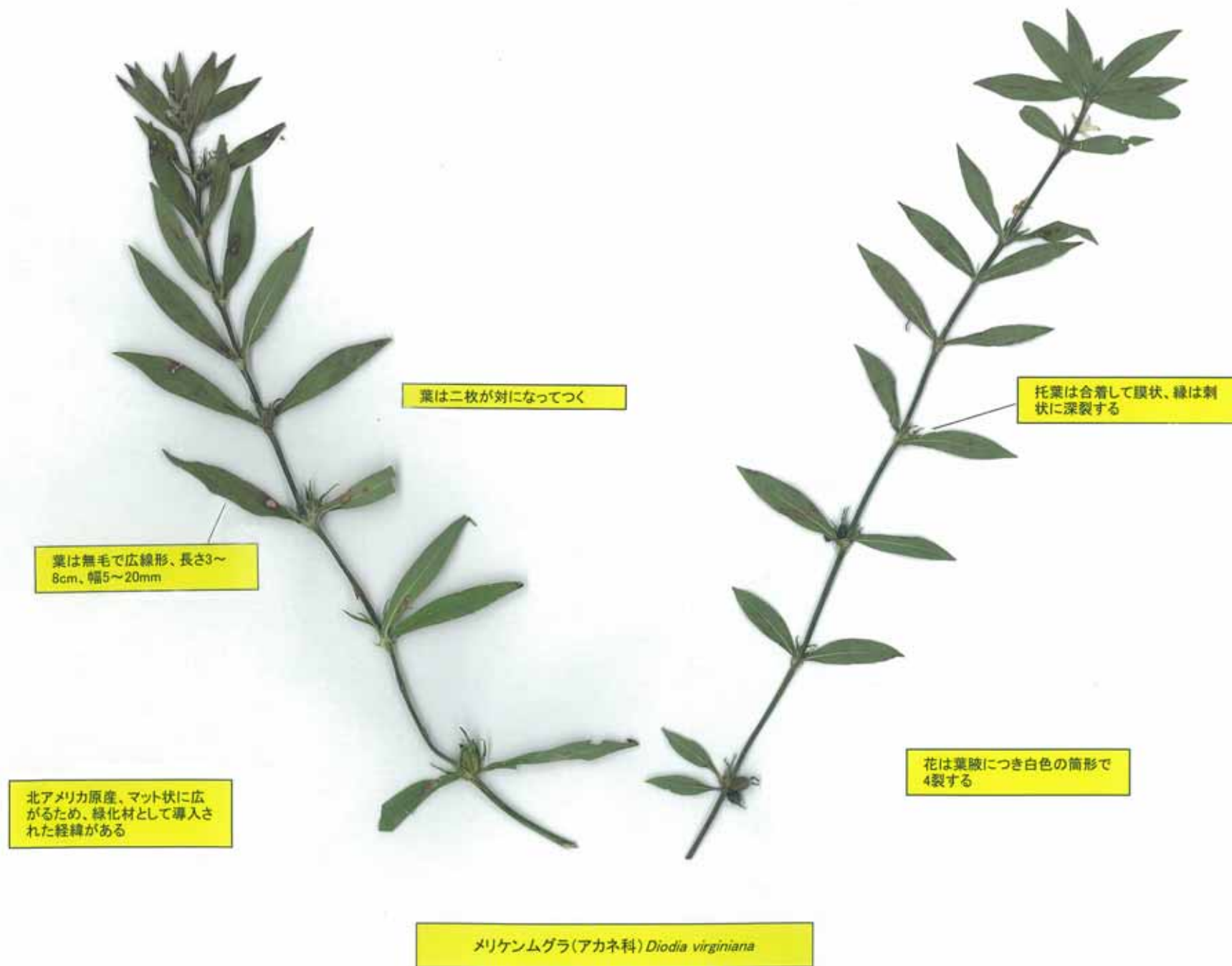
ヤマミズ(イラクサ科) *Pilea japonica*

コミヤマミズ(イラクサ科) *Pilea notata*

アオミズ(イラクサ科) *Pilea pumila*



メリケンムグラ



ウリカエデ と エンコウカエデ と イロハモミジ



葉の縁はやや不明瞭なひくいぎざぎざがあり先は長く尾状に尖る

葉は卵形で切れ込みはないか三裂

果実は無毛で翅とともに長さ2~2.5cm、水平に近く開出する



ウリカエデ(カエデ科) *Acer crataegifolium*



葉は5~7つに浅~中裂

葉は裏面の基部だけに毛がある

果実は無毛で長さ2~3cm



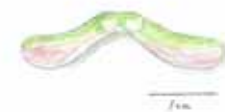
エンコウカエデ(カエデ科) *Acer pictum f. dissectum*



葉は5~7に深裂、秋に紅葉

裂片のぎざぎざは不揃い

果実は無毛で翅とともに長さ1.5cm



イロハモミジ(カエデ科) *Acer palmatum*

カラスウリ と キカラスウリ と モミジカラスウリ



葉と茎に著しい細毛があり葉の表面はピロード状



ほとんど毛が無く葉の表面はつやがある



葉は短毛を散生し5~9片に中~深裂する

実は楕円形で長さ5~7cm、柄は長さ約1cm、朱赤色に熟す



カラスウリ(ウリ科) *Trichosanthes cucumeroides*

実は楕円形で長さ7~10cm、柄は長さ約3~5cm、黄色に熟す



キカラスウリ(ウリ科) *Trichosanthes kirilowii var japonica*

実は丸い楕円形で長さ10cm、柄は長さ約7~25cm、一般に鮮赤色で橙色の筋が入る



九州では黄色に熟すものもある

モミジカラスウリ(ウリ科) *Trichosanthes multiloba*

サンショウ と イヌサンショウ



サンショウ(ミカン科) *Zanthoxylum piperitum*



イヌサンショウ(ミカン科) *Zanthoxylum schinifolium*

リウメンシダ

胞子囊群をつけない葉の裏表が同じように見えることが名の由来



胞子囊群は小羽片の中助寄りに、葉身の下部中央から外側に向かってつく

葉身は長卵状楕円形の3回羽状全裂、やや光沢のある黄緑色～緑色の紙質

葉柄はわら色、基部では線状披針形、淡褐色、全縁の鱗片がやや密に、中軸では線状、淡褐色の鱗片がまばらにつく

常緑性で根茎は短く這う

リウメンシダ(オシダ科) *Arachniodes standishii*

ヤブソテツ と ヤマヤブソテツ 表

葉は緑色で光沢がある

羽片が20対前後、幅は狭く、
辺縁に鋸歯がある

葉柄基部鱗片は暗褐色～黒色

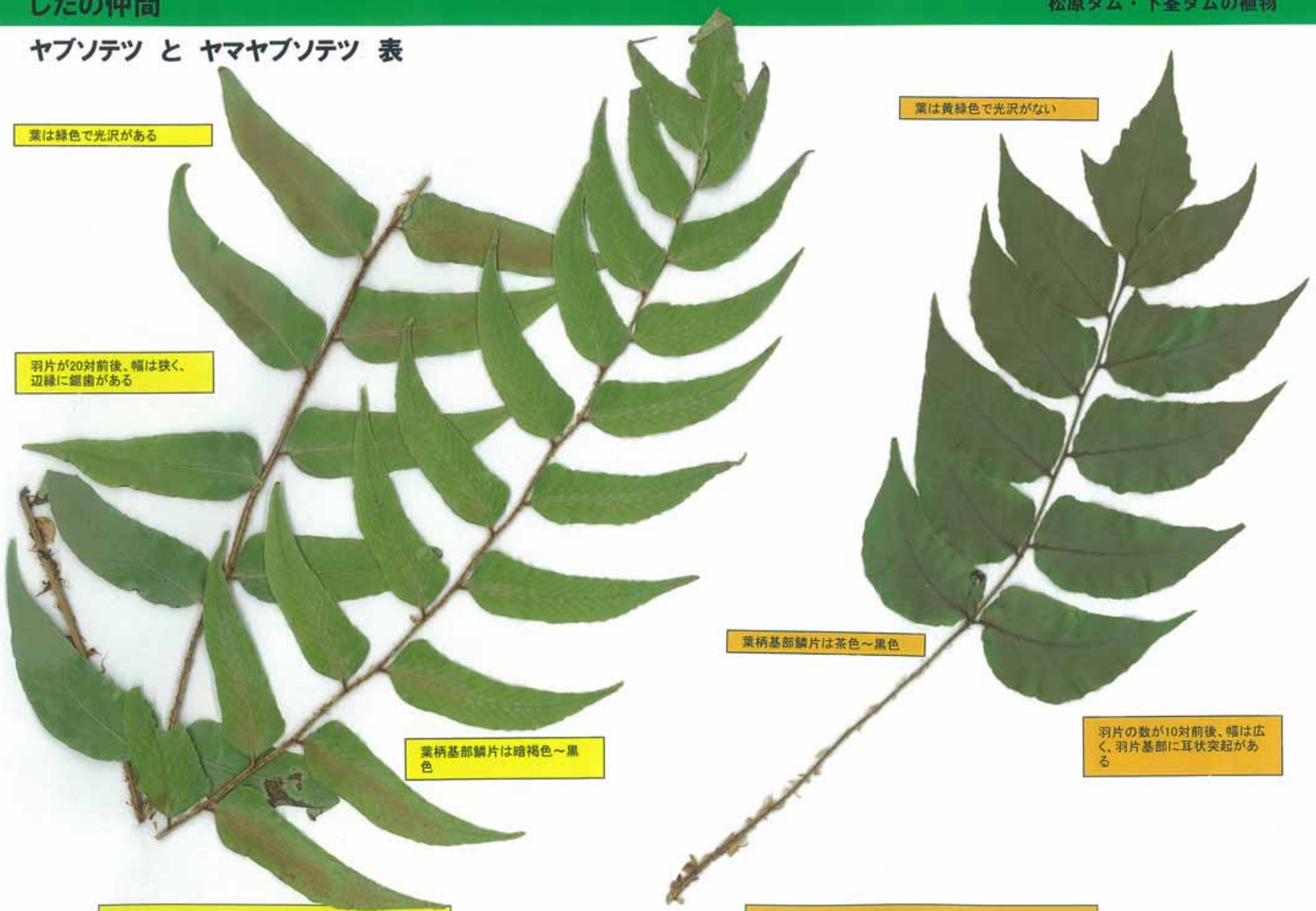
ヤブソテツ(オシダ科) *Cyrtomium fortunei*

葉は黄緑色で光沢がない

葉柄基部鱗片は茶色～黒色

羽片の数が10対前後、幅は広く、
羽片基部に耳状突起がある

ヤマヤブソテツ(オシダ科) *Cyrtomium fortunei* var. *clivicola*



ヤブソテツ と ヤマヤブソテツ 裏

苞膜は灰白色一色

苞膜は灰白色一色、辺縁に優先的につく

ヤブソテツ(オシダ科) *Cyrtomium fortunei*

ヤマヤブソテツ(オシダ科) *Cyrtomium fortunei* var. *clivicola*



イノデ と サイゴクイノデ と イノデモドキ 表



表面は濃緑色で光沢がある

葉身は広披針形、先端は急に狭くなる

中軸裏の鱗片は披針形、褐色で不規則な突起

葉柄基部の鱗片は披針形～広披針形、褐色

イノデ(オシダ科) *Polystichum polyblepharum*



表面は黄緑色で光沢がない

葉身は長楕円状披針形、先端は急に狭くなる

中軸裏の鱗片は卵状披針形、褐色で不規則な突起

葉柄基部の鱗片は披針形～卵状披針形、黒褐色が混ざる

サイゴクイノデ(オシダ科) *Polystichum pseudo-makinoi*



表面は濃緑色で光沢がある

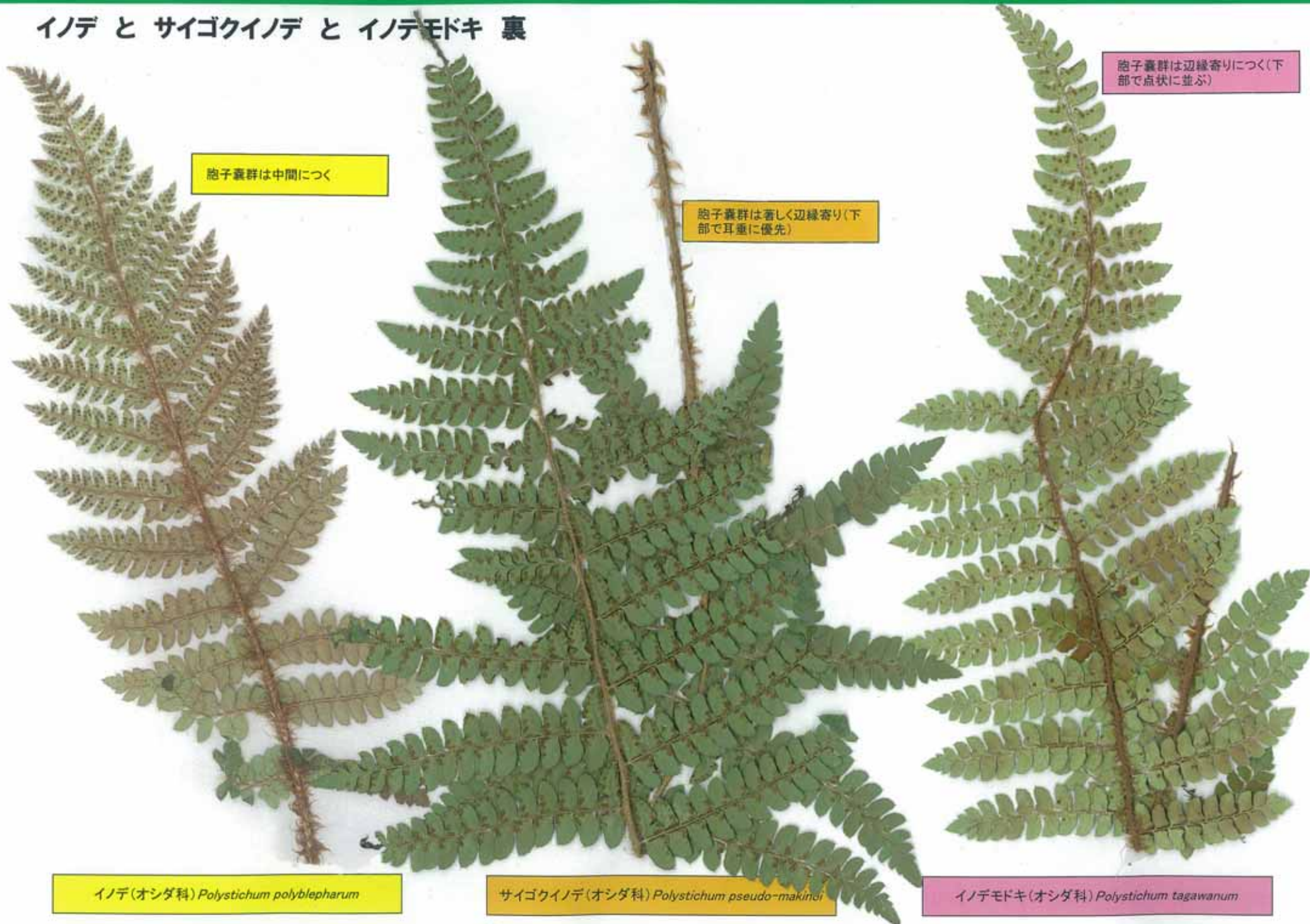
葉身は披針形、先端は尾状に伸びる

中軸裏の鱗片は卵状披針形、褐色で著しい鋸歯

葉柄基部の鱗片は披針形～卵状披針形、淡褐色

イノデモドキ(オシダ科) *Polystichum tagawanum*

イノデ と サイゴクイノデ と イノデモドキ 裏



胞子囊群は中間につく

胞子囊群は著しく辺縁寄り(下部で耳垂に優先)

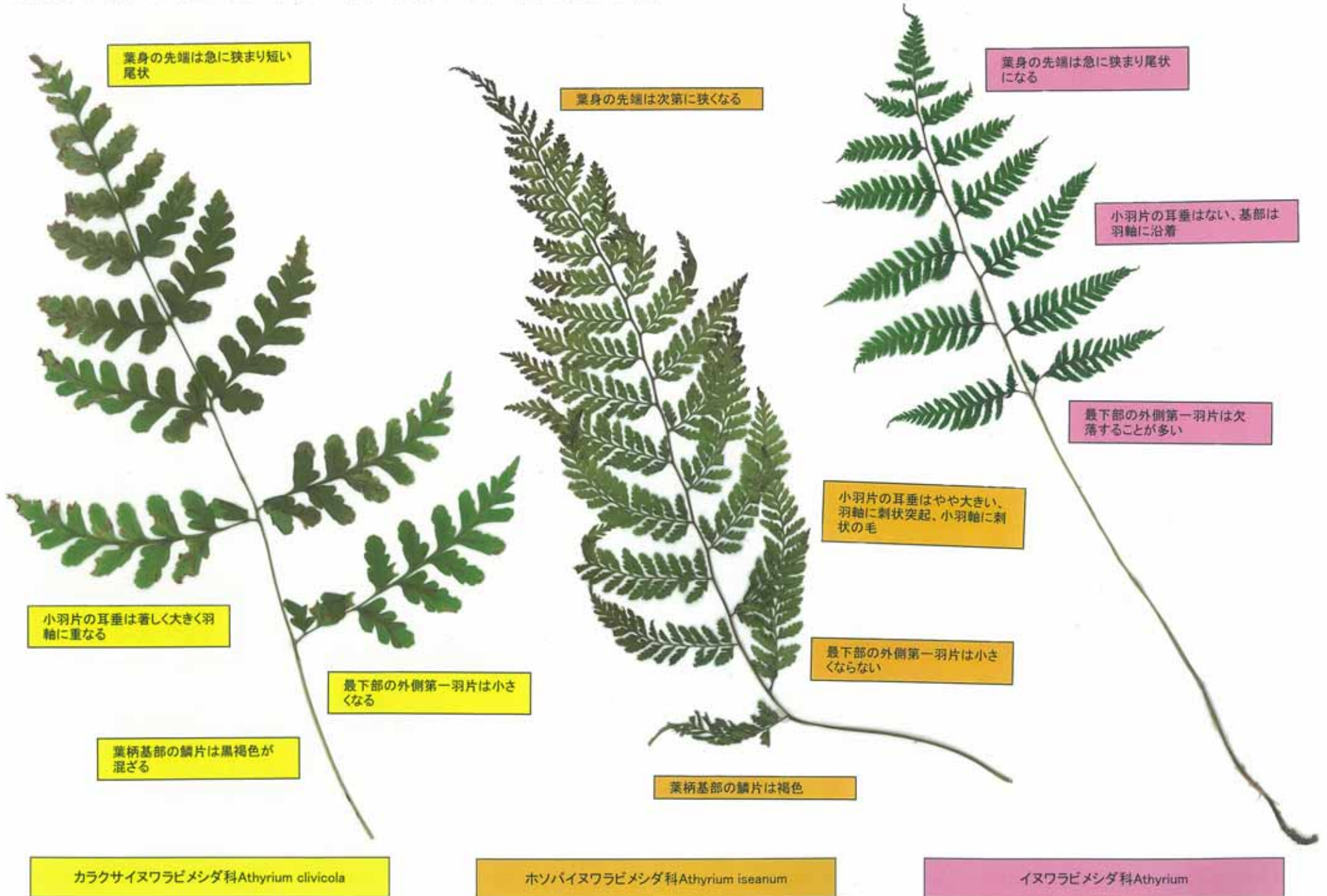
胞子囊群は辺縁寄りにつく(下部で点状に並ぶ)

イノデ(オンダ科) *Polystichum polyblepharum*

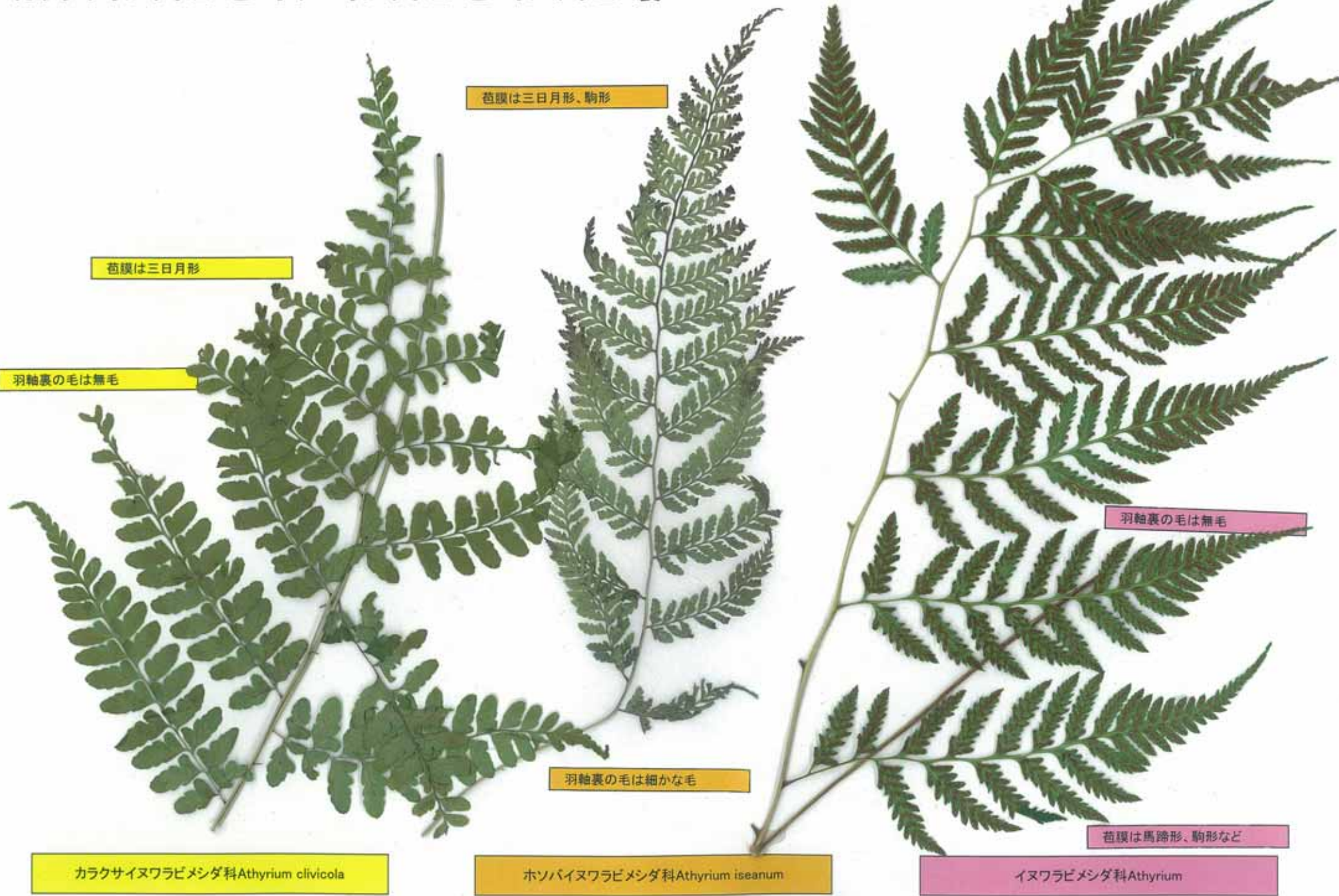
サイゴクイノデ(オンダ科) *Polystichum pseudo-makinoi*

イノデモドキ(オンダ科) *Polystichum tagawanum*

カラクサイヌワラビ と ホソバイヌワラビ と イヌワラビ 表



カラクサイヌワラビ と ホソバイヌワラビ と イヌワラビ 裏



苞膜は三日月形

苞膜は三日月形、駒形

羽軸裏の毛は無毛

羽軸裏の毛は無毛

羽軸裏の毛は細かな毛

苞膜は馬蹄形、駒形など

カラクサイヌワラビメシダ科 *Athyrium clivicola*

ホソバイヌワラビメシダ科 *Athyrium iseanum*

イヌワラビメシダ科 *Athyrium*

スイカズラ と ツクシヤブウツギ

花の基部に蜜がたまり吸うと甘いのでこの名がついた

花は細い筒の咲きが大きく上下に二裂して開き、白色→淡紅色→黄色と変化し甘い香りがする

名は「九州に産するヤブウツギ」の意

葉は対につき両面毛が多く特に裏面脈状に密生する

花の付け根に二枚の卵形の苞がある

花はラッパ状で長さは3cm以上、初め白色から後に濃紅色になる

葉は対につき卵形～長い楕円形、両面とも毛がある

萼や花弁に毛が密生する



スイカズラ(スイカズラ科) *Lonicera japonica*

ツクシヤブウツギ(スイカズラ科) *Weigela japonica*

ナキリスゲ と フサナキリスゲ



一つの節に一〜三個の黄緑色の小穂を束になってつける

葉の幅2〜3mm、茎の高さ40〜60cm、先は垂れる

葉の幅2〜3.5mm、茎の高さ40〜70cm、先は垂れる

柱頭が長く、小穂は毛が生えたようにみえる

小穂の先の方に細い雄花の集まりをつける両性小穂である

一つの節に一〜三個の黄緑色の小穂を束になってつける

小穂の先の方に細い雄花の集まりをつける両性小穂である

ナキリスゲ(カヤツリグサ科) *Carex lenta*

フサナキリスゲ(カヤツリグサ科) *Carex telogyne*

ハナタデ と ポントクタデ



花はまばらにつき紅色、実は三稜形

葉の先は急に細くなる

水湿地性ではなく葉鞘の縁は有毛

葉は両面にまばらに毛があり中程に黒斑がある

ハナタデ(タデ科) *Persicaria posumbu* var. *laxiflora*



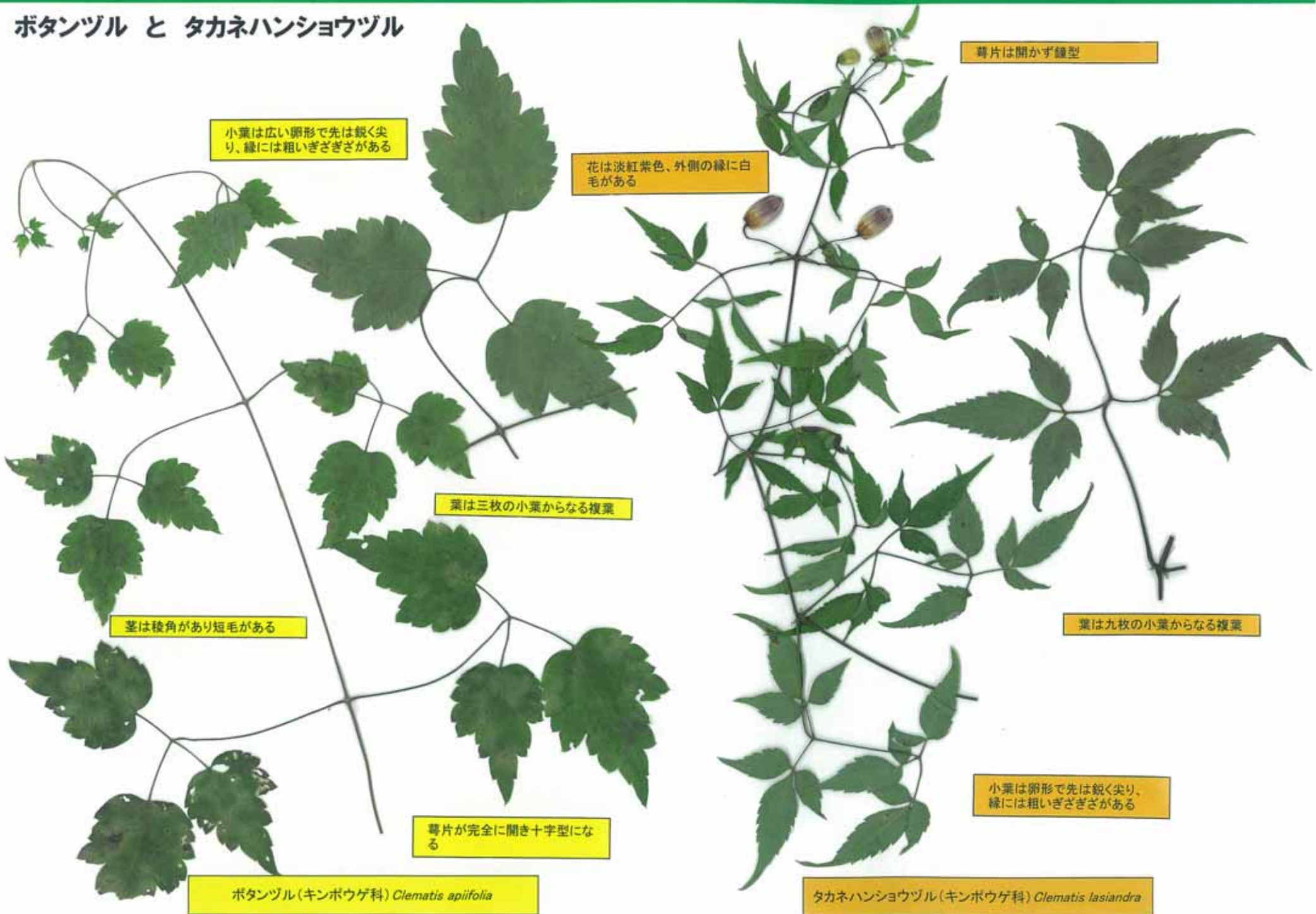
花はまばらにつき黄緑色で先は赤い、実は三稜形

葉は中程に黒い斑が入る

水辺や湿地にみられる

ポントクタデ(タデ科) *Persicaria pubescens*

ポタンヅル と タカネハンショウヅル



小葉は広い卵形で先は鋭く尖り、縁には粗いぎざぎざがある

花は淡紅紫色、外側の縁に白毛がある

萼片は開かず鐘型

葉は三枚の小葉からなる複葉

茎は稜角があり短毛がある

葉は九枚の小葉からなる複葉

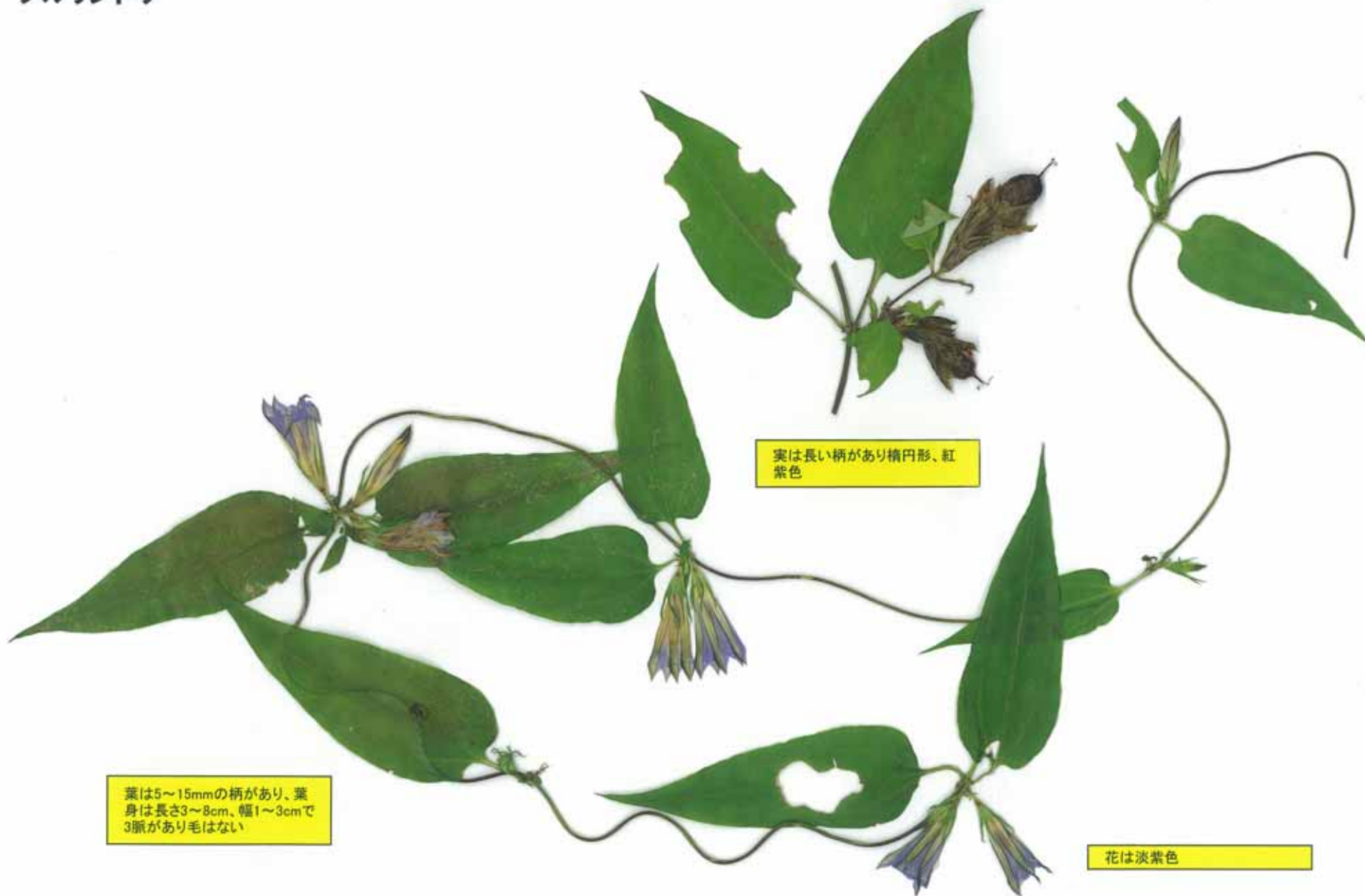
萼片が完全に開き十字型になる

小葉は卵形で先は鋭く尖り、縁には粗いぎざぎざがある

ポタンヅル(キンボウゲ科) *Clematis apiifolia*

タカネハンショウヅル(キンボウゲ科) *Clematis lasianдра*

ツルリンドウ



実は長い柄があり楕円形、紅紫色

葉は5～15mmの柄があり、葉身は長さ3～8cm、幅1～3cmで3脈があり毛はない

花は淡紫色

ツルリンドウ(リンドウ科) *Tripterospermum japonicum*

クリ と クヌギ



葉は広い楕円形で長さ7~14cm、真ん中より下が幅が広がる

側脈は片側16~23本

実は殻斗が大きく実を包んで刺を密生する

裏面に淡黄色の小さな腺点を密生



クリ(ブナ科) *Castanea crenata*



葉は広い楕円形で長さ8~15cm、真ん中より先の方がやや幅広い傾向がある

側脈の先端が縁から突出し針状になる

側脈は片側13~17本

裏面に腺点はない



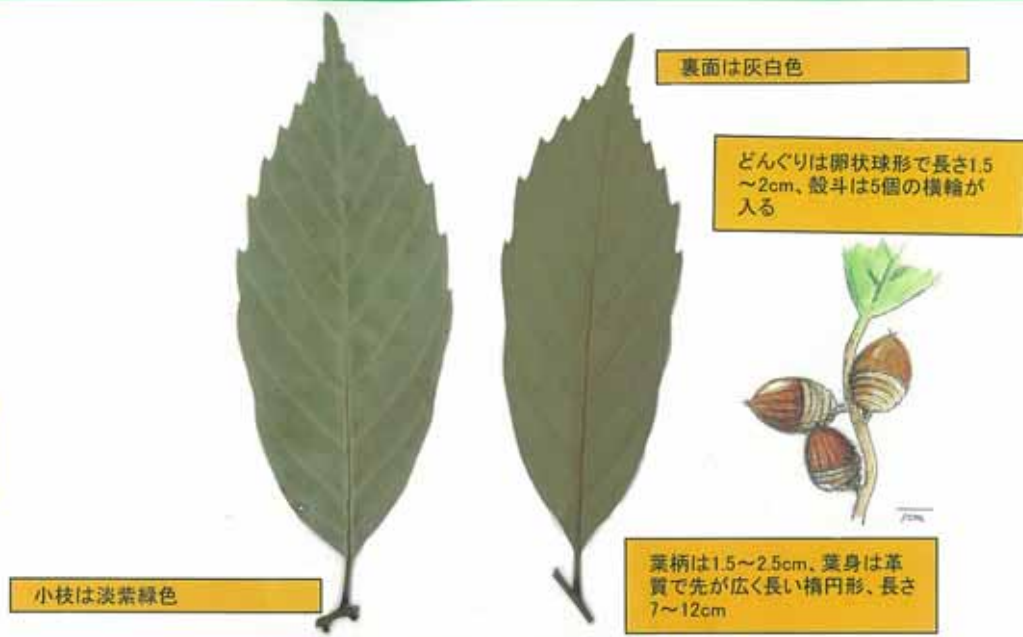
どんぐりは球形で、径約2.2cm、殻斗は細く反り返る総苞片が取り巻く

クヌギ(ブナ科) *Quercus acutissima*

イチイガシ と アラカシ と シラカシ と ウラジロガシ



イチイガシ(ブナ科) *Quercus gilva*



アラカシ(ブナ科) *Quercus glauca*



シラカシ(ブナ科) *Quercus myrsinaefolia*



ウラジロガシ(ブナ科) *Quercus salicina*

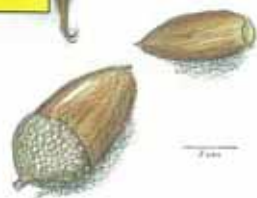
ナラガシワ と コナラ

葉は先が広くなった長い卵形で基部は尖り広いさび型、長さ12~30cm



裏面は灰白色

葉の縁には粗くて低いぎざぎざがある



どんぐりは楕円形で長さ約2cm、殻斗は杯状

ナラガシワ(ブナ科) *Quercus aliena*

葉は長い卵形で先は尖り、基部はくさび型か円く、長さ7.5~10cm



葉の縁にはやや丸みのあるぎざぎざがある



裏面は灰白色



どんぐりは丸い楕円形で長さ1.6~2.2cm、殻斗は小さな総苞片が瓦状に重なる

コナラ(ブナ科) *Quercus serrata*

ムクノキ と エノキ

ぎざぎざは斜上してあまり曲がらない

側脈は6~10対

表面は短毛が散らばりざらつく

葉身基部の側脈は太い

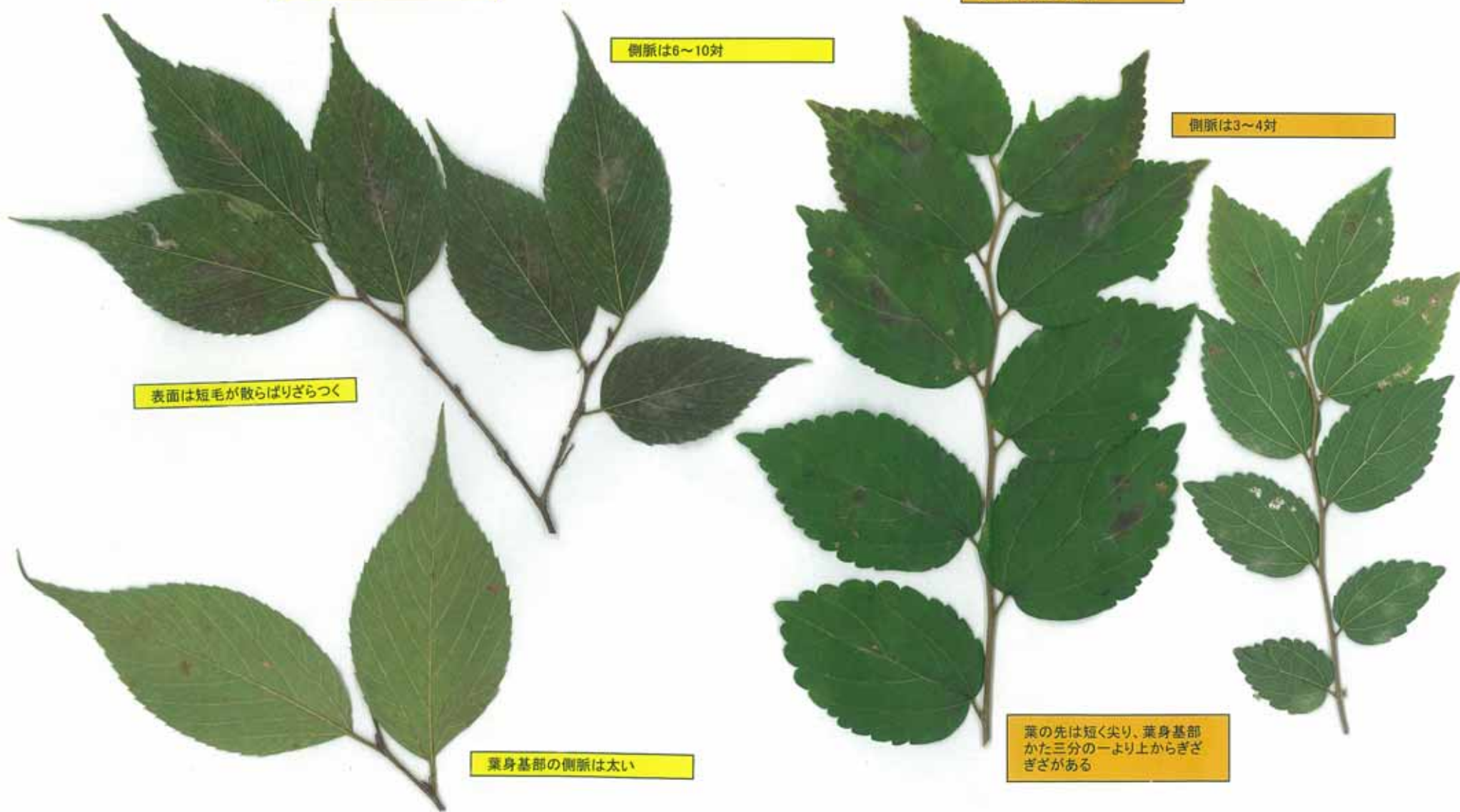
ムクノキ(ニレ科) *Aphananthe aspera*

表面は光沢がある

側脈は3~4対

葉の先は短く尖り、葉身基部かた三分の一より上からぎざぎざがある

エノキ(ニレ科) *Celtis sinensis var. japonica*

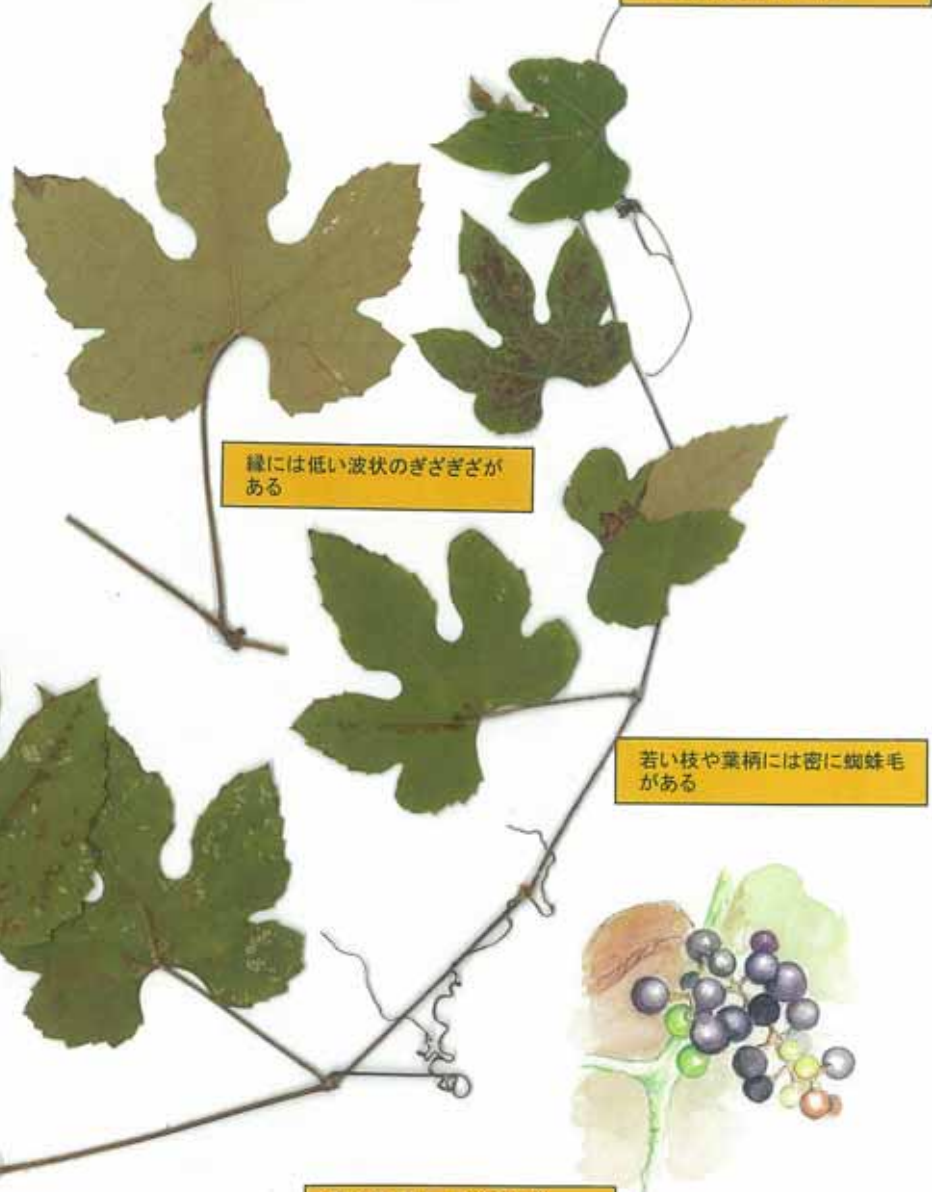
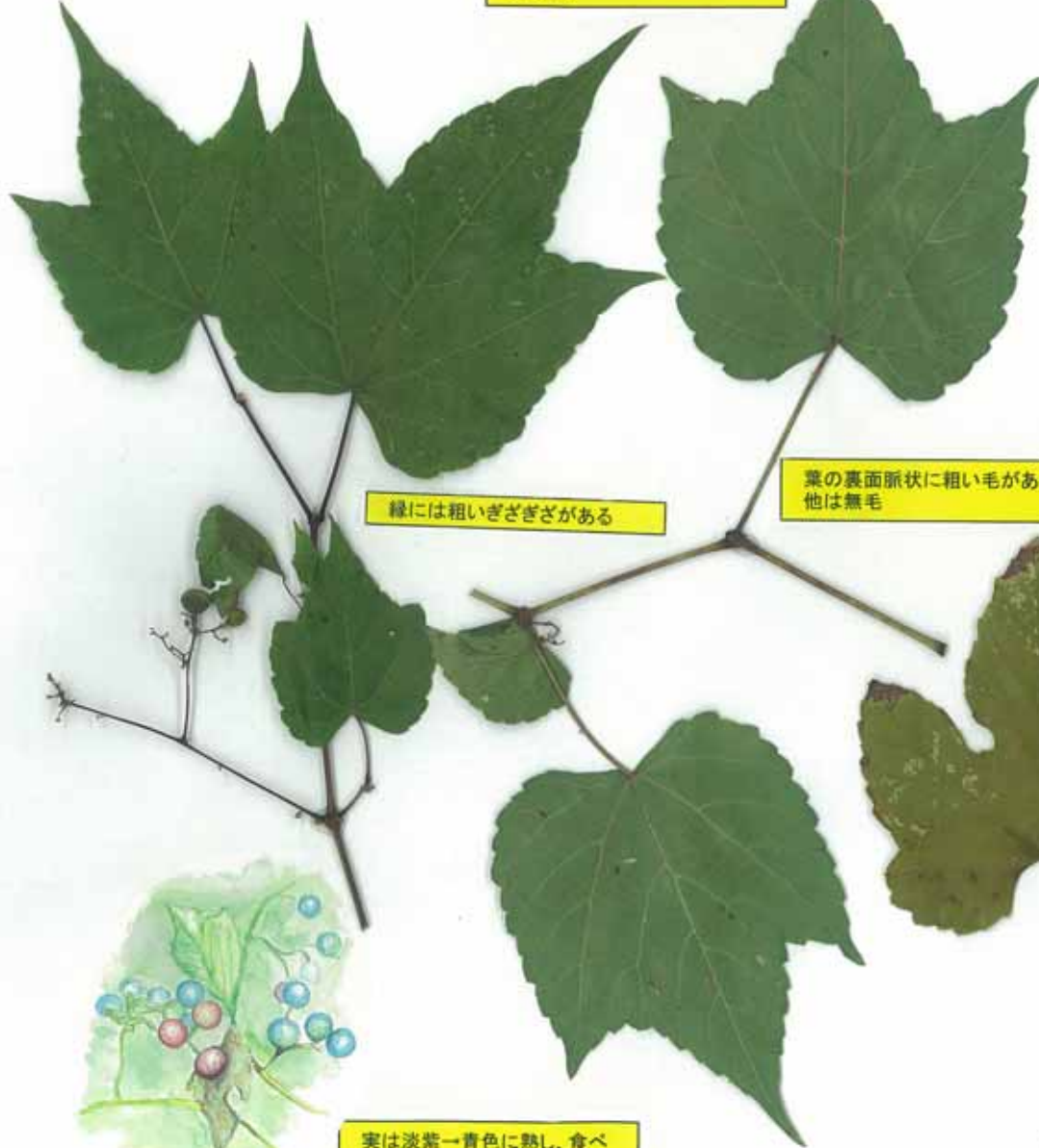


ノブドウ と エビヅル

葉は広い卵形で、長さ6～12cm、浅く三～五裂し、先は細く尖る

葉の裏面には灰褐～赤褐色の蜘蛛毛に覆われる

葉は広い五角状卵形で、長さ5～8cm、三～五つに浅～深裂し、先は鋭く尖るか鈍い



縁には粗いざざざがある

葉の裏面脈状に粗い毛がある
他は無毛

縁には低い波状のざざざがある

若い枝や葉柄には密に蜘蛛毛がある

実は淡紫～青色に熟し、食べられない

実は黒く熟し、食べられる

ノブドウ(ブドウ科) *Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*

エビヅル(ブドウ科) *Vitis ficifolia* var. *lobata*



ヤブマメ と ノアズキ と ツルマメ と クズ

小葉は広い卵形で、真ん中の小葉は長さ3~6cm、両面に伏した短毛がある



茎・柄とも伏した短毛がある

ヤブマメ(マメ科) *Amphicarpaea bracteata* ssp. *edgeworthii* var. *japonica*

地上の莢は緑だけに毛があり、長さ2.5~3cm、幅7~8mm



花は淡紫色

小葉は広い菱形に近い卵形で、長さ、幅とも1~3cm

莢は扁平で幅広い線形、短毛を密生し、5~8個の種を入れる、長さ4.5~5.5cm



茎には軟毛がある

ノアズキ(マメ科) *Dunbaria villosa*

花は黄色

小葉は細長い卵形で、長さ3~8cm、両面に短毛がある

莢は褐色の毛を密生し、2~3個の種を入れる、長さ2.5~3cm、幅5mm

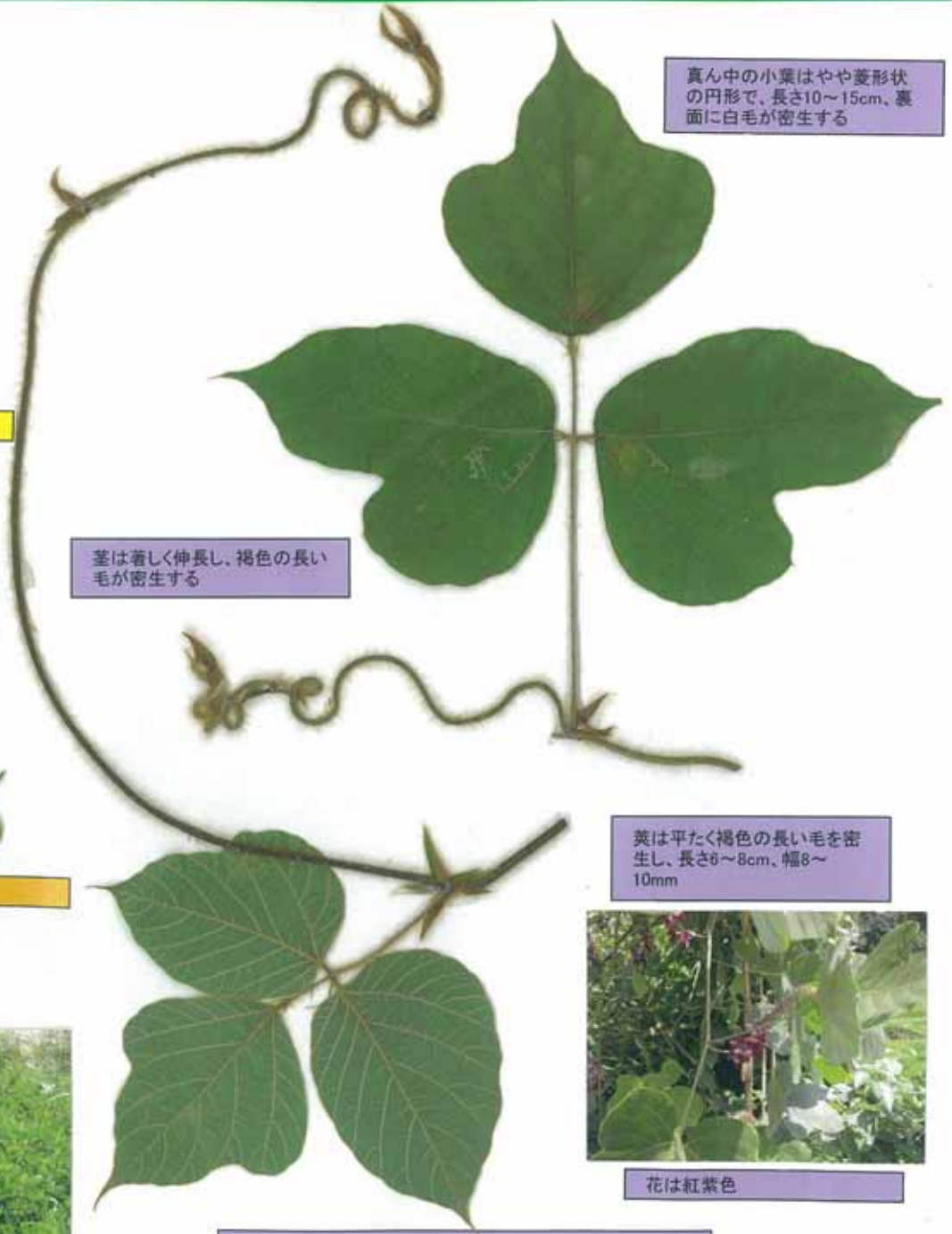


茎には褐色の下向きの毛がある

ツルマメ(マメ科) *Glycine max* ssp. *soja*



花は淡紫色



真ん中の小葉はやや菱形の円形で、長さ10~15cm、裏面に白毛が密生する

茎は着しく伸長し、褐色の長い毛が密生する

莢は平たく褐色の長い毛を密生し、長さ6~8cm、幅8~10mm



花は紅紫色

クズ(マメ科) *Pueraria lobata*